

平成 29 年(2017)2 月 『今年の収穫祭』

12/4、田植えに参加してくれた子ども会と一緒に、賑やかに収穫祭を行いました。今シーズンは、イノシシや悪天候の影響で苦勞が多く、収穫量も少なかったので、新米の有り難味もひとしおでした。当日は冬晴れの空のもと、松子の広場で味わうつきたてのおもちと温かい豚汁は格別。また、脱穀後とっておいたワラを使って、お正月のしめ飾りを作るのも毎年の楽しみです。年長の方が教えてくれる地元独自の形から子ども達の作る独創的なものまで、様々なしめ飾りができあがります。

春にはたった一粒だった種モミが、手間ひまかけて秋には約 2,000 粒のお米へとかわり、ようやく口にすることができます。お米のちからとネイチャークラブの活動に参加してくれた人達のエネルギーが相まって、今年も無事美味しいお米が頂けたことに感謝です。

【今後の予定】

2/18(土) 10:00～ 早春の生き物観察会と焼き芋

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 大川 47-4959

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 29 年(2017)5 月 『里山を歩いてみませんか?』

洞庭湖から憩いの森へ続く道には、ウツギ、ヤマツツジ、足元にカントウタンポポ、ニガナ、アザミ、見上げると薄紫のフジ。5月の里山は花の季節です。黄・橙・青紫・白、色とりどりの草花が私たちを迎えてくれます。

大欠堰から洞庭湖へ流れる松子川や周りの田んぼでは、メダカ、アカガエルのオタマジャクシ、チョウやトンボなどがにぎやかになりました。里山を歩いてみませんか。

【今後の予定】

6/10(土) 19時、ホタル観察会

7/9(日) 10時、水生生物観察、ザリガニ釣り大会

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 大川 47-4959

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



(カントウタンポポとタツナミソウ)

平成 29 年(2017)6 月 『なんと 208 人!!』

5/3、風薫る五月晴れのもと、今年も緑米の田植えが行われました。子ども会や保育所の親子など、総勢なんと208人！

田植えひもに沿って苗を植える小学生、初めはおそるおそる最後は全身泥んこの小さな子、生き物を見つけて誇らしげな子、川遊びに興じる子、そして大人達もいい汗をかきました。

「植物は人の足音を聞いて大きくなる」と言いますが、足を運び、気にかけてあげれば、稲に人の気持ちが伝わってどんどん大きくなります。

一宮ネイチャークラブは、「環境保全」「里山再生」を活動指針とし、生き物への心配りを忘れず、皆で松子の恵みを大いに楽しんでいきたいと思えます。

【今後の予定】

6/10(土) ホタル観察会

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 29 年(2017)7 月『ホタル観察会とオシドリの飛来』

6/10(土)、恒例のホタル観察会が開催され、今年もひと夏の幻想的な光景を楽しむ親子連れで賑わいました。

また、5 月にはオシドリのつがいが田んぼに飛来して、少し驚かされました。オシドリは、晩秋に数羽が一宮に渡って来ますが、3 月には北へ帰ります。5 月まで留まるのは珍しく、繁殖の為かもしれません。ホタルやオシドリはどちらも県の保護生物に指定されています。この環境を大切にしたいものです。

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



撮影:平成 29 年 5 月(松子)

平成 29 年(2017)8 月『松子のホタル』

一般に、ゲンジボタルの後にヘイケボタルと出現する時期が移りますが、洞庭湖先の松子地区では、6 月半ばをピークに例年ほぼ同時期となります。

幼虫が小川に住むゲンジボタルが、明るく 5 秒ほど光っては消えるのに対して、田んぼなどに住むヘイケボタルは、弱い光で、短くせわしなく明滅します。でも、農薬を使わない田んぼでなくては、ヘイケに出会えません。

成虫たちは、1 週間から 10 日ほどの命を、水辺のコケなどに産み付けた卵につなぎ、1 年後にまた私たちの目の前に姿を現すのです。

松子は、これからしばらくザリガニ、メダカなどがにぎやかな季節を迎えます。

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 29 年(2017)9 月『雨降らずとも、生き物たちは・・・』

今年の梅雨は雨がほとんど降らず、ため池の水も底をつきました。松子川も流れるほどの水量はありません。でもタニシ、カワナ、シジミ、オタマジャクシ、ドジョウ、サワガニ、カワエビ、ザリガニなど、生き物たちは元気です。

7/9、元気いっぱいの子供たちを迎えて、水生生物観察会とザリガニ釣り大会を行いました。暑い日射しの中、ザリガニをたくさんつかまえて満足顔の子供たち。最後は、みんなでスイカを食べました！

10 月に稲刈りを予定しています。

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

平成 29 年(2017)11 月

『「キイトトンボ (黄糸蜻蛉)」のこと』

松子は古代米の稲穂が垂れ、秋たけなわとなる頃、イノシシが出没し田んぼを荒らしはじめました。そこで今年は、会員が協力して電気柵や網柵を設置して被害を防ぐ方策がとられました。

夏季の雨不足が原因で里山の生き物にも影響がありました。特に身近なトンボの種類・数の減少は、興味を持つ子ども達にとって少し寂しい結果でした。そんな中、全国的に絶滅が心配されている希少種のキイトトンボの発見は今後の環境保全活動にかすかな光明をもたらすものでした。

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 29 年(2017)12 月 『今年の稲刈り』

今年の稲作は例年以上に、お天道様とにらめっこの続くシーズンでした。空梅雨でため池がからっぽに干上がった初夏、長雨に悩まされた晩夏～秋。イノシシについては『電気柵』を張った為、例年のような食害はくいとめることができました。最後に台風 21 号、22 号が房総半島に襲来。

しかしさすがは生命力が強く丈夫に育つと言われている古代米の『緑米』。10/28 に今年も数々の困難を乗り越え、無事収穫を終えることができました。太陽と大地の恵みに感謝して収穫祭でこのお米を味わうのが楽しみです。

【今後の予定】

12/19(土) 年末大掃除

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook 「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 30 年(2018)1 月 『今年の収穫祭』

穏やかに晴れた12/3、田植えに参加してくれた子ども会の皆さんと一緒に、賑やかに収穫祭を行いました。松子の田んぼで穫れた緑米のお餅や、あったかい豚汁も美味しくて大好評。稲わらでお正月のしめ縄飾りも作って、みんなでわいわい言いながら楽しい時間を過ごしました。

今シーズンは天候不順に悩まされましたが、イノシシ被害も少なく、これまでで一番多くのお米が穫れました。不順な天候にも負けないお米の強さ、そしてネイチャークラブの活動に参加してくださった皆さんのエネルギーのおかげだと、ありがたく感じながらお餅を頂きました。

【今後の予定】

2/17(土) 10:00～ 早春の生き物観察会と焼き芋

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 30 年(2018)2 月 『冬を越すチョウ』

12/3の収穫祭では、子ども達の弾んだ声で賑わった松子も、今はすっかり木々の葉が落ち、新春とは名ばかりの厳冬の装いです。ネイチャークラブの行事も一段落して、新年度となる4月からの活動に備えています。

さて、寒くなり昆虫が姿を消した11月中旬、日だまりの葉に紫色のチョウが1匹とまっていました。成虫のまま越冬する珍しい「ムラサキシジミ」でした。生き物も人も本格的な春の訪れを待つ季節です。

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 30 年(2018)3 月 『新たな季節へ』

やや暖かくなり始めた田んぼでは、2月に孵化したオタマジャクシたちが少し大きくなり、かたまりを作りながら元気に泳ぎ回り始めました。

枯葉色だった遊歩道や田んぼのまわりも緑で覆われはじめ、タンポポ、オオイヌノフグリが黄色や青紫の花で彩りを添えています。

新芽や若葉が広がる季節の野山では、草花や生き物たちの成長の生命力をもらえるような新鮮な気分を味わえます。

松子は間もなく田植えの季節を迎えます。松子の田んぼで古代米作りに参加したい方は是非ご連絡下さい。

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784



平成 30 年(2018)4 月 『早春の森の生き物観察会』

2/17 (土)「早春の森の生き物観察会」には、船橋から 30 人の子ども達が参加して、洞庭湖から松子までの遊歩道を歩きました。ヤマユガのまゆやチョウセンカマキリの卵を発見したり、イヌビワの木に寄生するイヌビワコバチの不思議な話に耳を傾けたり。最後にトウキョウサンショウウオやアカガエルの卵を間近に観察して松子の広場に到着すると、焚き火の中で焼き芋が待っていました。

楽しくておいしい一日となりました。

【今後の予定】

5/3 田植え

<問い合わせ先>

矢澤 42-7388 吉田 42-6784



平成 30 年(2018)5 月 『大地の恵に感謝して…』

私達の活動している田んぼは、たくさんの生き物たちの生息地でもあります。彼らに棲みよい環境を提供することで安全なお米を手に入れることができるのです。豊かな自然環境の中で、松子の里の恵みを一緒に楽しみませんか？行事・活動へのご参加お待ちしております。

【年間の主な予定】

5/3 田植え

6/9 ホタル観察会

7/8 水生生物観察会&ザリガニ

10/20 稲刈り

12/2 収穫祭 他

(※月1回のフィールド作業 状況により変更あり お問い合わせ下さい)

<問い合わせ先>

吉田 42-6784 矢澤 42-7388



平成 30 年(2018)6 月 『雨ニモ負ケズ…皆で田植え!』

5/3(当日)朝はあいにくの荒天・・・ 急きょ午後からに変更したにもかかわらず集まってくれた皆さまのおかげで、今年も無事に田植えを終えることができました。

14年目を迎えるネイチャーの田植え。慣れて手際の良い子ども達も、年々増えてきているのがなんとも嬉しい限りです。田植えを頑張った後は、去年の緑米で作ったおむすびとぼたもちを美味しく頂きました。今年もまたお米が実るまで、皆で田んぼや生き物を見守っていきます。生命力と青葉あふれる松子をぜひ散策してみてください。

【今後の予定】

7/8 水生生物観察会&ザリガニ

<問合せ先>

吉田 42-6784 矢澤 42-7388



平成 30 年(2018)7 月 『ホタル観察会』

里山の初夏の風物詩ホタルの観察会を6/9(土)に実施しました。今年は例年より10日程早く飛び始めたので、ピークを過ぎていましたが、乱舞するホタルの光の点滅に、訪れた人からは「とてもきれい!」「昨年より少なかった!」等の声が聞かれました。

松子地区は町内でもゲンジボタルが生息する数少ない場所です。清流とホタルの幼虫の餌カワニナがいて初めてゲンジボタルが生存できるのです。この房総を代表する里山環境を大切にしたいものです。

<問合せ先>

吉田 42-6784 矢澤 42-7388

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中!



平成 30 年(2018)8 月

『大賑わいのザリガニ釣りとスイカ』

7/8 (日)、晴天。松子田んぼで、水生生物観察とザリガニ釣り大会が開かれました。子どもたちを含む 22 人の参加者は、松子川にぎぶぎぶと入って、ヨシノボリやテナガエビ、トンボのヤゴなどを観察しました。水生生物観察がおわると、サキイカを餌にザリガニ釣り。友だちより少しでも大きなザリガニを釣ろうと夢中になりました。真夏の太陽の下、ごほうびのスイカを食べて、子どもも大人もご満悦でした。

<問合せ先>

吉田 42-6784 矢澤 42-7388

Facebook 「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 30 年(2018)9 月 『夏の夜の昆虫観察』

8月に子供達と夜間の虫の観察を行いました。ブラックライトという電灯を使って、虫たちにしか見えない紫外線の光を照らすと、様々な種類の蛾や甲虫などたくさんの昆虫が集まってきました。(写真は蛾とコオロギ)

松子では、緑米という古代米を作っています。このお米は10月の終わり頃が収穫の時期ですから、これからやっとな穂が実り始めます。去年は、田んぼを荒らすイノシシとの戦いでしたが、今年の収穫はどうなるでしょうか。ぜひ稲刈りにご参加ください。

【今後の予定】

10/20 (土) 9:00～ 緑米稲刈り
(天候等により変更の場合あり)

<問合せ先>

吉田 42-6784 矢澤 42-7388

Facebook 「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 30 年(2018)10 月

『絶滅の心配「トウキョウサンショウウオ」』

モズの高鳴きが聞こえ、春に子ども達と植えた緑米（古代米）の稲穂が収穫を待っています。一宮町には、ホタルを始め多くの貴重な生き物が生息しています。その保護も私達の大切な活動です。

環境省や千葉県が絶滅の心配がある生物として指定しているトウキョウサンショウウオは、九十九里一帯の丘陵地の池や田に産卵し、細々と命を繋いでいます。町内でも複数の産卵場所が確認されており、今後も町の貴重な財産として保護し継承したいと願っています。

【今後の予定】

10月下旬 稲刈り（予定）

<問合せ先>

吉田 42-6784 矢澤 42-7388

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 30 年 4 月(一宮町) 文責・撮影：君島

平成30年(2018)11月 『イノシシから緑米を守る』

町内ではすっかり田植えが終わっていますが、私たちが育てている晩稲の緑米は、10月中頃まで元気に稲穂を伸ばしています。それを狙ってやってくるのが、イノシシです。被害を防ぐため、ネットを張ったり、電気柵をめぐらすなど対策を講じています。昨年、イノシシ対策の講演会を催した際にも、たくさんの地域の方のご参加を頂き、関心の高さが伺えました。

秋、松子から洞庭湖へ続く遊歩道にはヨメナ、リュウノウギク、ゲンノショウコなどが咲き、これからはワレモコウや草木の紅葉が見られます。ひっそりと静まりかえる初冬の散歩道も、とても趣深いものです。

【今後の予定】

12月2日(日) 収穫祭

(収穫した緑米でおもちをついたり、お正月の縄飾りを作ります)

<問合せ先>

吉田 42-6784 矢澤 42-7388

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 30 年(2018)12 月 『みんなで稲刈り』

10 月 28 日 29 日が松子の稲刈りでした。田んぼには緑米独特の黒い稲穂がぎっしり並んでいます。稲刈りを予定していた週末に雨が降り、残りは平日に持ち越しとなりました。

私と年長の娘にとっては初めての稲刈り体験です。娘はやり方を教えてもらうと、一株ずつしっかり握って鎌で刈りはじめました。私はその稲を束ねておだかけに。娘をおんぶして田植えして以来、松子の田んぼに来るたびに子どもの成長を感じます。大好物の栄養満点の緑米、収穫祭が楽しみです。

【今後の予定】

平成 31 年 2 月 16 日(土) 早春の森の生き物観察・焼き芋 10:00

<問合せ先>

代表：吉田 42-6784 事務局：矢澤 42-7388

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



▲おだかけの様子

平成 31 年(2019)1 月 『今年の収穫祭』

今年も皆で丹精こめて育てた緑米を無事に収穫することができ、12月2日(日)松子の田んぼで収穫祭が行われました。寒空の下、子ども会からも大勢の参加があり賑やかな収穫祭でした。例年好評の餅つきや豚汁、稲わらのしめ縄作りなどを楽しむうちに体もポカポカに。初参加の方からは、緑米のおにぎりを一口食べただけで「今までで一番甘くて美味しい!!」という声が聞かれました。松子の生き物に夢中になっている子どものママは、「ここに来ると心が和む」とやさしい笑顔を見せてくれました。松子での貴重な自然との触れ合いが行事を通じて広まっていく事は、私達一宮ネイチャークラブの喜びであり、これからも松子の生き物たちを残して行きたいという気持ちを強くさせてくれます。海も里山もあるのが一宮の良さ、ぜひ身近な里山にも足をのばしてみてください。

【今後の予定】

平成 31 年 2 月 16 日(土) 早春の森の生き物観察・焼き芋 10:00

＜問合せ先＞

代表：吉田 42-6784 事務局：矢澤 42-7388

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 31 年(2019)2 月 『激冬期に産卵「ニホンアカガエル」』

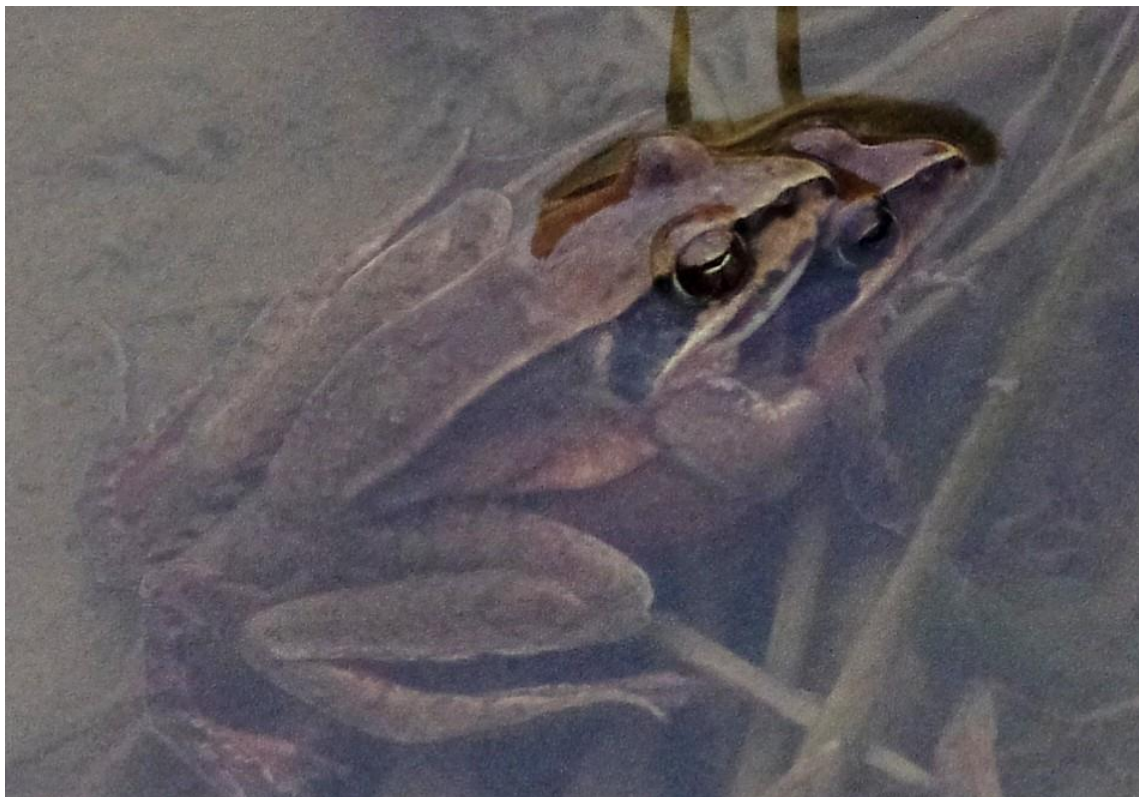
12 月の収穫祭には元気な子ども達で賑わった松子の田んぼも、今は結氷し、辺りもすっかり冬景色。動植物はじっと春の訪れを待っています。そんな寒中に動き始める珍しいカエルがニホンアカガエルです。1～2月の夜、騒がしく鳴きながら水田で繁殖活動を行います。かつて一宮町に普通にいたカエルは環境の変化で激減、現在は絶滅危惧種です。冬の産卵は餌の奪い合いを避け、天敵がない時期に成長し仲間を増やす戦略です。環境保全と希少種の監視は私達の大切な活動の一つです。

<問合せ先>

代表：吉田 42-6784 事務局：矢澤 42-7388

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



平成 31 年(2019)3 月 『松子のトンボ・ガイドブック』

一宮町東部地域保全会によるガイドブック「松子の自然 ～トンボ編～」ができました。松子に生息するトンボの姿をカメラに収め、一宮ネイチャークラブが編集したものです。

松子の田んぼはトンボだけでなく、メダカやホタルなど様々な生き物に、卵から成虫に至るまでの生活の場を与えています。

しかし、年々田んぼが姿を消していく中で、その生き物たちも厳しい状況に置かれています。これからも、私達に何ができるかを考えながら見守ってほしいものです。

<問合せ先>

代表：吉田 42-6784 事務局：矢澤 42-7388

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

松子の自然 ～ トンボ編 ～



発行：一宮町東部地域保全会・編集：一宮ネイチャークラブ

この冊子は、農林水産省「多面的機能支払交付金」の農村環境保全活動を支援するための「資源向上支払交付金」により、東部地域保全会の活動の一環として編集したものです。

平成 31 年(2019)4 月 『生き物観察』

2月16日(土)「早春の森の生き物観察」を行いました。船橋市立一宮少年自然の家をおとずれた小学4~6年生たちは、松子の田んぼで冬越しする昆虫や、トウキョウサンショウウオ、アカガエルの卵を観察した後、焚き火にいられておいした焼き芋を美味しく食べたり、稲わら細工を楽しみました。

<年間予定>

4月 田ごさえ 5月 田植え
6月 ホタル観察 7月 水生生物観察
10月 稲刈・脱穀 12月 収穫祭
2月 早春の森の生き物観察

<行事案内>

5月3日(祝・金) 10時~ 田植え

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中!



令和元年(2019)5月 『賑やかな春』

5～6月の里山は、1年のうちで最も草木の花が彩りを賑やかにする季節です。

白い卵の花、ノイバラ、青紫のフジ、アザミ、黄のタンポポ、朱色のヤマツツジ、などなど、ぐんぐん伸びる若葉青葉に隠れてそれ程目立ちませんが野山は百花繚乱の時期です。

田んぼでも動物たちがにぎやかです。たくさんのオタマジャクシ、メダカに紛れて、溶けた白いマシュマロのような泡の卵塊も見られます。シュレーゲルアオガエルの卵です。オランダ人の発見者の名前がついていますが、日本の固有種です。

間もなく6月初めころに、松子川周辺ではホタルの時を迎えます。

<行事案内>

6/8(土) ホタル観察会

(ホタルの発生が遅れた場合は延期になる場合があります)

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



シュレーゲルアオガエルの卵塊
成体

令和元年(2019)6月 『15年前の田植え！』

ネイチャークラブの田植えは、毎年5月3日。松子の田んぼが1年で最もにぎやかになる日です。今年は大人と子ども合わせて130名ほどの歓声が周囲の林に響きわたりました。常連さんも増えてきて、あっという間に植え終わり、泥で遊んだり水路でメダカやオタマジャクシを見つけたり、春の野山の感触をたっぷり味わいました。

今年の田植えで嬉しかったことは、ちびっ子マイ田んぼの出現です。子ども達が休耕田を掘り起こし耕して水を入れ、自分だけの小さな田んぼを作って苗を植えました。田植え後もしばしば田んぼを訪ねてくれることが期待されます。

<行事案内>

7/14(日) 10:00～

水生生物観察会&ザリガニ釣り大会

場所：松子の田んぼ（洞庭湖と憩いの森の間）

申し込み不要。釣竿有り。汚れてもいい服装で。

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



令和元年(2019)7月 『松子の夏』

暑さが厳しくなってきました。松子では蓮の花が今を盛りに咲きほこり、水辺では、メダカ、ザリガニ、ドジョウ、ヤゴなどが見られます。また田んぼ周辺には、たくさんのトンボやチョウたちが飛び交っています。

7月14日に水生生物観察会&ザリガニ釣り大会を開催しましたが、ザリガニやトンボはいつでも見られますので、ぜひ松子に遊びに来てください。

一宮ネイチャークラブでは、夏休み中に、夜の灯火に集まる昆虫たちの観察会を計画しています。関心のある方は、Facebookをご覧ください。

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



令和元年(2019)8月 『ホタル観察会』

梅雨が始まる6月は、ホタルの季節。一宮ネイチャークラブの田んぼに沿って流れる松子川には、毎年多くのホタルが飛び交い、はかない光の演舞を見せてくれます。今年は6月8日(土)に観察会を開催し、40名ほどの方が参加されました。気温の低い夜でしたが、しばらく光ってふわっと消える幻想的なゲンジボタルの光を堪能することができました。

一方で、田んぼをすみかとするヘイケボタルの姿はほとんど見られなくなっていました。耕作されなくなって2年目の出来事です。

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



令和元年(2019)9月 『森を作る鳥 ～カケス～』

モズの高鳴きが聞こえ、松子がすっかり秋の気配に包まれる頃になると、森の奥からはジャー、ジャーと「カケス」のしわがれた鳴き声が響いてきます。好物のドングリが実をつける秋は活動が活発になるのです。

カケスは秋が深まると冬に備えてドングリを落ち葉の下に頻繁に貯食する習性があります。その多くが忘れられ翌年に発芽・成長して恵みの森を作っていきます。

5月に田植えされた緑米も森からの水の恩恵で稲穂が実り、10月末の稲刈りを待っています。

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



文責・撮影：君島・一宮町

令和元年(2019)11月 『秋の自然観察』

9月27日、船橋市の小学4年生約80名と一緒に、憩いの森から松子の遊歩道で秋の自然観察を楽しみました。

万葉集の中で山上憶良が「萩(はぎ)の花 尾花(ススキのこと) 葛(くず)花 撫子(なでしこ)の花 女郎花(おみなえし)また藤袴(ふじばかま)朝顔の花(キキョウのこと)」と詠んだ秋の七草の一つ、クズの花に鼻を近づけ「いい匂い！」とうっとりしたり、イナゴや赤トンボを追いかけたり。中でもイネ科植物に寄生するナンバンギセルの花が見られ感激しました。

<お知らせ>

12月8日に予定していた「収穫祭」は、都合により「しめ飾り作り」に変更いたします。

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！



令和元年(2019)12月 『夜の松子で「灯火採集」』

イルミネーションの映える季節になりましたが、今年8月3日の夜に行った「灯火採集」のことをご紹介したいと思います。

「灯火採集」とは、昆虫が光に集まる習性を利用した昆虫採集の方法です。採集道具をセットし、蛍光灯とブラックライト（紫外線の多いライト）を点灯して持ちます。その間、昆虫・鳥・植物の話で熱く盛り上がりました。

さて結果は？残念ながら子ども達の喜ぶカブトムシやクワガタムシは見られませんでした。しかし、昼間見つけるのが難しいトビイロスズメ、ノコギリカミキリ、オオツヤハダコメツキ、ヒメボシカメムシに大喜びしてカメラのシャッターを押しました。

見慣れた昼の様子と全く違う夜の松子に魅了され、時間は瞬く間に過ぎてゆきました。

<行事予定>

2月15日(土) 早春の生き物観察&焼芋

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 42-8142

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

